

アルファガーデン 9月の見どころ

※その年の気候により開花時期はずれることがあります

※2023年はやや早めに咲きだしています

【花木類(花や実を観賞する樹木)】



①サルスベリ
百日紅と書き、夏から秋まで長く咲く。1mほどのわい性タイプから街路樹にするような中木タイプなどある



②シマサルスベリ
奄美諸島、沖縄、台湾などに自生する。サルスベリより樹高は大きくなるが花は小さくやや地味。暖かい淡路では生育は良好
幹は樹皮が剥がれて真っ白になり美しい



③ミヤギノハギ
ハギの中でも花が最も美しく、庭木などによく使われ、園芸品種も多くある。花付が多く、しなだれるのが特徴



④シラハギ
ミヤギノハギの変種



⑤ムクゲ
韓国の国花。多くの品種があり庭木としてよく使われる



⑥ルリマツリ
南アフリカ原産の半つる性の低木。プルンパゴともいう



⑦ヤマボウシの実
6月頃開花した花が、そろそろ実になり赤くなる。熟すと甘くて美味しい



⑧コムラサキの実
ムラサキシキブの名で流通し庭木などによく使われるが別種



⑨シロミノコムラサキ
コムラサキの園芸品種で実が白い



4月に開花したモクレンの仲間が鮮やかな実をつけている。左は‘イオランテ’、右はコブシ



⑩モクレンの仲間の実

【草花類】



⑪オオベンケイソウ
‘オータムジョイ’
美しい多肉植物の宿根草。乾燥に強い



⑫ヘリオプシス
‘バーニングハーツ’
葉はやや銅葉の丈夫で美しい宿根草



⑬ミズカンナ
葉がカンナに似ているアメリカ州南部原産の水生植物



⑭シオン
大型のキク科の宿根草。古くに帰化か。繁殖力は強い



⑮トウテイラン
葉はシルバーで美しい。国内の自生地では絶滅危惧



⑯ノコンギク(淡路産)
田の畔などに見られる野菊。変異が多く、当校のものは学校付近から採取



⑰キキョウ(淡路産)
秋の七草のひとつのなじみ深い宿根草。当校のものは淡路島の個から採種して栽培したもの



⑱フジバカマ(明石産)
秋の七草のひとつだが、自生地は減っており準絶滅危惧種。当校のものは明石産



⑲ヤブラン
国内の山野の林内などに自生し、丈夫で花も美しい。右側は斑入り品種



サルビア類5種 秋に美しくなるサルビア類。

左から ⑳レウカンサ‘ピンクアメジスト’ ㉑ガラニチカ ㉒アズレア ㉓‘ビッグブルー’ ㉔コクシネア‘コーラルニフ’

【球根類】



㉕ヒガンバナ



㉖シロバナマンジュシャゲ



㉗アキザキスノーフレーク



㉘タマスダレ

【グラス類】



㉙トキワスキ

スキに似ているが常緑で大型。花期も早い



㉚パンパスグラス

大型のグラス。右は斑入り葉品種。穂がピンク色になる品種もある



㉛ミュレンベルギア・レバコニー



㉜パニカム ‘チョコレート’



㉝パニカム ‘ヘビーメタル’



㉞フウチソウ



㉟チカラシバ

